

令和6年第14回金ヶ崎町教育委員会定例会 会 議 録

1 開会、閉会等に関する事項

- (1) 開会 令和6年11月25日(月) 午前10時
(2) 閉会 同 午前11時
(3) 場所 役場3階庁議室

2 教育長及び出席委員の氏名(4名)

職名	氏名
教育長	千葉 和仁
教育長職務代理者	高橋 玲子
教育委員	小野 タマ子
教育委員	鈴木 雅司

3 説明等のため出席した職員(3名)

所属・職名	氏名
教育委員会 教育次長	千葉 重徳
中央生涯教育センター 所長	鈴木 敏郎
中央生涯教育センター 副主幹	松本 浩和
教育委員会事務局 教育次長補佐	渡邊 久美子

4 欠席委員の氏名(1名)

職名	氏名
教育委員	八重柏 知史

5 教育長等の報告の要旨

別紙資料のとおり教育長から報告

6 議題及び議事の概要

- (1) 報告第1号 生涯教育審議会の答申結果について
教育長が議事進行を行い、報告1件について事務局が説明した。

質疑等

高橋職務代理) P. 19 部活動の移行についてどうなっているか。

→スポ少は、H15 から R5 までで団数、団員、指導者が半減している。指導者が少ないため団員も減っていると思う。部活動地域移行するにも、指導者が少ない状況。

鈴木委員) P. 34 学習機会の確保について、小・中・学童保育等との連携による学習機会の確保の内容について聞きたい。

→小・中では、青少年芸術鑑賞会を実施している。学童対象では、町の芸術文化協会が土曜に子どもと一緒に絵を描く活動を行っている。より多くの生徒・児童に様々な学習機会を提供できるよう長期休みの活動として連携していきたいと考えている。

鈴木委員) P. 34 多様性に配慮した学習機会や学習環境の確保の、多様性とは具体的にどういうことか。

→例えば障害がある方への学習機会等を指している。ろうあ者の方などに対しては手話通訳を準備するなど、まったくないわけではないが十分ではないという事である。

また、今後は外国人も増えてくると思うが、どの程度学習機会、学習環境を整備する必要があるか、という視点である。

鈴木委員) 学童の待機児童についてどうか。胆沢は、場所にもよるが3年生以下の受け入れが限界。5、6年生は対象外にしている自治体も多いのでは。

→町では6年生以下まで受け入れしているが、今年は金小の6年生に待機児童が発生している。

7 議決事項

なし

閉会